

落書きしてみよう！

インストールも終了し、初回起動時のあれこれもクリア…さて、いよいよ実際に落書きしてみましょう！その前に、気持ちよくComicStudioで絵を描くための最終確認です。

落書きをはじめる、その前に

1 最新版のアップデートはインストールされていますか？

バージョンが1個違うだけで操作方法が全然違うこともあるので、最新版のアップデートをインストールしておいてください。また、自分が使用しているバージョンは、起動時もしくは、ヘルプメニューの「バージョン情報」から確認できます。

ComicStudio 4.0アップデート

<http://www.comicstudio.net/download/csupdater/>

アップデートの使用方法

- ① サイトから最新のアップデートをダウンロードします。
アップデートは、「Debut」、「Pro」、「EX」用とわかれているので、間違えないように注意してください。
- ② ダウンロードしたファイルをダブルクリックすると、解凍先を聞かれるので、好きな場所(デスクトップ等)を指定すると、解凍がはじまります。
- ③ 指定した場所にアップデートの入ったフォルダができるので、フォルダを開き、中にあるアップデートのアイコンをダブルクリックします。
- ④ 後はアップデートの指示に従ってOKをクリックしていけば、操作は完了です。アップデートをインストールした後の初回起動時には、ディスクチェックが行われるので「アプリケーションディスク」を入れておくのを忘れずに。

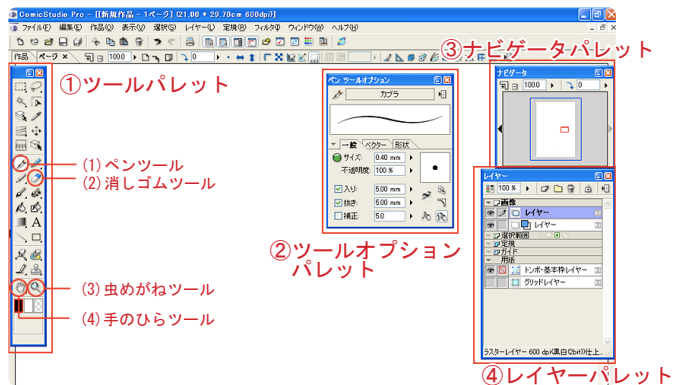
2 素材はインストールされていますか？

起動後、素材のパレットを開いて、素材が表示されない(基本トーンが何も入っていない…等)場合は素材がインストールされていません。「ファイルメニュー」の「素材のインストール」から素材をインストールしてください。素材は「アプリケーションディスク」「素材ディスク」「サンプルディスク」の中に入っています。

この2点を確認したら、いよいよComicStudioでお絵かきです。

ペンで描いて、消しゴムで消す

ComicStudioをスタンダードインターフェースで起動した場合、次のような画面が開いていると思います。



1 ツールパレット

ペンや鉛筆、消しゴム、マジックワンドなど、作業に必要なツールが集まっているパレットです。

2 ツールオプションパレット

ツールパレットで選択したツールの設定を行えるパレットです。ペンや鉛筆、消しゴムの太さや補正の設定、マジックワンド対象領域の設定などがここで行えます。

まずは、ツールパレットから(1)ペンを選択し、ツールパレットの下にある描画色(ComicStudioでは「黒」「白」「透明」の3色から選ぶことができます。)で「黒」を選んで、原稿用紙の上をドラッグすると線が引けます。

もし、失敗したら、(2)消しゴムツールを選択して消したい線をドラッグすれば線が消えます。

表示サイズを変えたい時は、

(3)虫めがねツールで画面をクリックすると表示を拡大、虫めがねツールで「Alt」キーを押しながら画面をクリックすると表示を縮小することができます。

表示の位置をずらしたいときは、

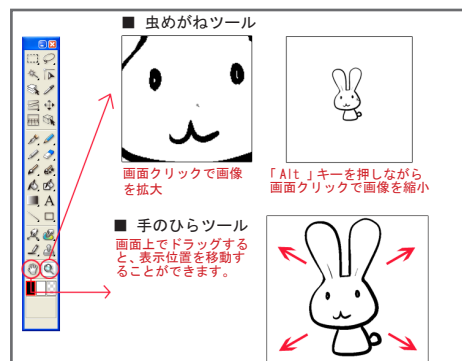
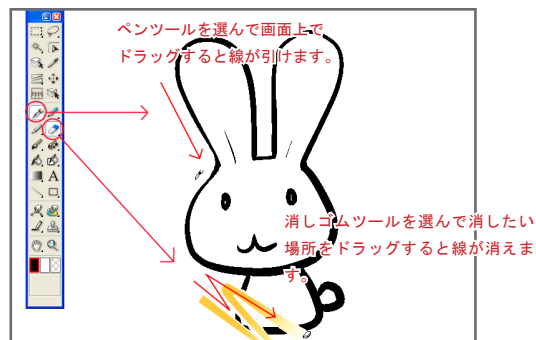
(4)手のひらツールで画面をドラッグするか、ナビゲータパレットをドラッグすれば表示位置を移動することができます。

3 ナビゲータパレット

ページの一部や全体を表示するパレットです。パレット内をドラッグすることで表示位置を移動したり、表示倍率を変えたりすることもできます。好きな場所に一気に移動したいときに便利です。

4 レイヤーパレット

開いているページの中で使用されているレイヤーです。ComicStudioではレイヤーと呼ばれる透明の層(透明なフィルムって考えるとわかりやすいかも?)を作って、それに絵を描いていきます。上のレイヤーがペン入れ用レイヤー、下の水色の四角のマークがついているのが下書き用のレイヤーになります。



Column ディスクの中身

ComicStudioには様々な機能が搭載されていますが、最初から機能を全部覚えなくても、落書きをするだけなら上で紹介したツールを使うんだ!ということ覚えておけば大丈夫ではないでしょうか。とりあえず落書きしてみて、そのうち不便を感じる事があれば、その都度、新しい機能や必要な機能を覚えていくのが、一番いいかと思います。こういうのは、楽しんでやっていくのが一番覚えると思うので。長くなってきたので、今回はこの辺で。

次回はペンツールの設定や、落書きするのに覚えておくちょっといいこと&便利なことを紹介したいと思います。